

ニュースレター No.84

会長挨拶

一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤香代



今年もあっという間に3月を迎えました。気がつけば、梅の香りが爽やかに漂い、春の訪れを感じるとともに新しい年度への期待に夢が膨らみます。毎年この時期は、前年度の事業の総括と決算、次年度の計画、新しい予算の組み立てに追われ、あわただしい日々を過ごすこととなります。

会員の皆さまには健やかでご活躍のことと存じます。

まず、福岡県助産師会は年々事業が順調に伸びており、これまでで最も躍進していることをご報告いたします。会員数も飛躍的に伸び、私が会長に就いた4年前の200人台から現在は340人へと増加しており、会への期待が大きいことを感じています。

産後ケア事業の助産師会との契約市町は、次年度は22に増加する予定です。「いつでもどこでも誰もが受けられる産後ケア！」を目指して、助産師会が行政に訴え続けてきた成果が確実に表れていると言えるでしょう。新しく入会した方々は、臨床からいずれ地域で働くことを念頭に置き、助産所開業へ向けての準備を行っています。施設で働く助産師や若者の入会が増え、頼もしい限りです。

さて、服部福岡県知事は、2月の記者会見で、少子化に歯止めをかけるため、こどもを安心して産み育てることができる社会づくりを進めると述べられました。来年度「出産・子育て安心基金」を活用し、産後ケア事業の利用者負担を軽減する補助制度の創設とともに、自治体には積極的に導入を働きかけ、自治体への予算上乗せ等も語られました。また、福岡県プレコンセプションケアセンターの設立も計画に入っています。

これらは、福岡県助産師会が県に要望書として提出した内容で、その大半が予算化されたこととなります。福岡県が積極的に動いてくださり、大きな力をいただきました。感謝しています。

福岡県助産師会の独自の取組としては、次年度から「助産師が伝える包括的性教育 いのちの教育」研修を5月から開始します。また、プレコンセプションケアの周知・啓発・教育を県とともに行っていきます。

4月からは新しい事業として妊娠・出産・産後・子育て・思春期の悩みに関する電話とメール相談事業が始まります。相談員も決定し、現在始動のための準備を行っているところです。

さらに、協賛企業のスタジオ・アリスさんとの提携で3月から妊娠中および育児の講演を100回/年行います。

4月28日は、九州交響楽団主催のマタニティ・コンサートに出向き、助産師相談コーナーを開設、救護室に助産師を配置し、指揮者との胎教トークを行います。

福岡県助産師会は幾多の可能性を秘め、これからもっともっと前進していきます。今こそ、あなたの力が必要です。「助産師」を存分に楽しみましょう！

委員会活動 報告

災害対策委員会委員長 木下広江

2024年1月1日の夕方、北陸の日本海側を襲った能登半島地震。震度7の地震は家屋の倒壊や損壊をもたらし、地震の恐ろしさを改めて感じさせられました。

発生から1か月以上がたった今も、厳しい避難生活を余儀なくされている方々が、大勢いらっしゃいます。心より、お見舞い申し上げます。

甚大な被害状況を見ると、人間の無力さを感じてしまいますが、今こそお住いの地域のハザードマップ・避難場所・避難経路の確認や、非常持ち出し袋の準備、ご自宅の倒壊やがけ崩れの危険性はないかなどについて見直す機会としてください。

昨年度より、九州沖縄地区の災害対策委員長会議が年間2回定期開催されるようになり、情報交換ツールとしてLINEグループで繋がっています。情報交換や、連携を取りながらの協力体制ができつつあります。

12月の安否確認訓練へのご協力ありがとうございました。72時間で安否確認できた人数は206名(61.86%)でした。Googleフォームを活用し、できるだけ簡単に効率よく安否確認訓練が実施できるように取り組んでいます。

2月の理事会での消火訓練は、雨天中止となり 会館において福岡市消防局作成の防災関連動画を視聴し、理事の防災意識向上を図りました。とても分かりやすく、YouTubeでいつでも見ることができます。会員のみなさまも、日々の備えとしてご活用ください。

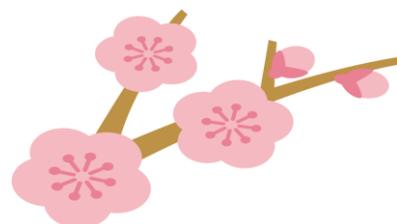
安全対策委員会委員長 田嶋昌枝

本年度は安全対策委員会で【産後ケア受託者の意識調査】を会員の皆様のご協力のもと実施いたしました。調査結果は現在集計後のまとめにとりかかっております。結果を持ちまして会員の皆様への報告、また産後ケア受託者の安全管理に対する切実な意見や問題点などを関係諸機関に訴えていきたいと考えております。

来年度も安全対策委員会の活動にご理解・ご協力よろしくお願ひいたします。

教育委員会委員長 松藤美由紀

令和5年度の福岡県助産師会研修会に、お申し込みいただいた皆様ありがとうございました。今年度は総数1,001名の方々にお申し込みいただきました。対面研修会も再開し、参加者の皆様とともに学びの深い時間を過ごすことができました。対面の良さも再度実感できた研修会でした。令和6年度も対面研修や引き続きオンデマンドの研修会を予定しております。今後ともよろしくお願ひいたします。



組織強化委員会委員長 田中輝美

福岡県内の助産師の〇たまごさん全員に入会案内を!!

組織強化委員会は、以前から学校や施設に出向き助産師会入会のアピールをしてきました。COVID-19の影響で訪問し難い状況が続き、ニュースレターの配布のみの年がありましたが、2022年度より学校訪問を再開しました。この間、『5分で分かる福岡県助産師会』のスライドと入会案内名刺版カードを作成し、会員の皆さまの職場などで入会の勧誘に用いていただけるよう準備しました。

そして、今年度は福岡県下10校の助産師養成学校全校に入会案内を届けることができました。6校へは組織強化委員が出向き、スライドに加えて自らの言葉で助産師会の魅力を語り、4校へは会員によるアピールをしていただきました。助産師学生さん方はキラキラしたまなざしで関心をもって聴いてくださり、近い将来、共に助産師として母子のために、ひいては社会のために活動できることを嬉しく思いました。

私たち助産師が、助産師会を通してつながり、ますます魅力的な助産師会にしたいと願っています。

★名刺サイズの入会案内と助産師会のクリアファイル、また、パワーポイント資料が必要な方は、地区理事を通してお申し出ください。



3部会報告

助産所部会長 田嶋昌枝

令和5年11月25日、3部会合同研修会を開催しました。税理士から助産師の経営に役立つインボイス制度についての講演、その後の3部会交流会では産後ケアの現状や問題などを各部会から発表し、活発な意見交換が行われました。次年度も講演会や3部会合同の交流会など企画予定です。どうぞご期待ください。

保健指導部会長 松山まどか

1月20日に保健指導部会会議と交流会を助産師会館で行いました。今年度の事業報告と次年度の事業計画について検討した後、各自が行っている産後ケアの現状や問題点について情報交換をしました。ホテルや保育園などの事業参加が増えていく中で、助産師ならではの産後ケアのあり方や、ビジネスとしての成立を考えて行く必要性を感じました。少子化が進む中、いつまで産後ケア事業が拡大できるのか 今後の展開を考えていく必要があると思われます。助産師が行う産後ケアの質の確保も大切なことでしょう。

今後産後ケアでの開業を考えている皆様は しっかりと学びながら準備をしていただきたいと思います。行政の仕事の一貫であるということをお忘れずに、ケアを行ってまいりましょう。

産後ケア事業の現状と課題

妊娠・出産包括支援委員会委員長 豊田晴子

本事業は、2013年6月7日に「少子化危機突破のための緊急対策」として閣議決定され、2014年に妊娠・出産包括支援モデル事業の一部として開始されました。翌年から妊娠・出産包括支援事業として本格実施との報道を耳にした時の興奮は今でも鮮明に覚えています。私と同じように多くの助産師なり母子に寄り添う関係者は、喜びの涙を流されたことだと思います。

また、2017年8月の「産後ケア事業ガイドライン」では、“妊娠・出産・子育てを家庭のみに任せるのではなく、生活している地域で様々な関係機関や人が支援し、孤立を防ぐことが重要である”と、はっきりと記されています。

2019年には母子保健法の一部を改正する法律が公布されて【産後ケア事業の法定化】となりました。待ち望んでいた日が来ました。母親の孤立を防ぎ、生活している地域で様々な支援を行うことは重要な政策課題です。母子とその家族が健やかに生活できるよう支援するために、産後ケア事業の全国展開を図ることを目的とし、「産後ケア事業を母子保健上に位置づけ、事業の実施を自治体の努力義務とする。」となりました。それにより、地域での産後ケアサービス料金やサービス内容（利用回数やショートステイ、デイケア、アウトリーチ等の利用ができる、できないなど）は、自治体により千差万別。それに伴い報告書なども千差万別、混乱状態でした。助産師として産後ケアに魅力ややりがいを感じながらも、書類の煩雑さに疲弊する助産師もいます。それは本末転倒です。助産師が助産師としての力量を存分に発揮し、母子やそのご家族への素敵な寄り添いに専念出来るように、まずは自治体によって異なる書類の統一化や料金の統一化を願うところです。

2月16日、KBCのアサデスの放送で、福岡県知事、福岡市長の“福岡県と福岡市における産後ケア事業の利用促進予算増額”という、明るい声明を耳にしました。県知事自らの発信により、「産後ケア事業ガイドライン」に掲げられた子育てを家庭のみに任せるのではなく、生活している地域で様々な関係機関や人が支援し、孤立を防ぐことが重要であることが立証されたことになるのではないかと思います。今後ますます福岡県の産後ケア事業が充実していくことと確信しています。

子育て支援電話相談事業が始まります！

子育て支援電話相談事業準備担当 福澤雪子

福岡県助産師会では、2024年4月から、子育て支援電話相談事業「SOS電話相談～妊娠 赤ちゃん・子育て 思春期～」を始めます。この事業は、思春期・妊娠期・子育て期における様々な悩みや不安に対して正しい情報の提供と相談者に寄り添った問題解決を図るため、専門家による相談を実施することを目的としています。

現在、助産師会のホームページに「SOS電話相談」ページを増設し(3月予定)、電話(092-406-5118)とメールによる相談受付体制を整えつつあります。

当面は在宅勤務で事業を運営していきますが、経験豊富な6名の相談員の方に就任していただくことになりました。

会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、子育ての悩みを持つ方々に寄り添った「子育て支援事業」を目指して取り組んでまいります。



2023年度 母子保健情報交換会を開催しました

副会長 吉田静

2023年11月22日、2023年度母子保健情報交換会をKKRホテル博多にて開催しました。

会には、来賓として福岡県や市町村の母子保健担当や医師の方々など多くの方がご参加くださり、助産師会からは理事、妊娠出産包括支援委員長などが参加し、にぎやかな会となりました。佐藤会長による助産師会の紹介と産後ケアや性教育など会員の活動報告などのお話を聴きながら、メモを取られている方も多くいらっしゃいました。最後には、参加者お一人ずつに福岡県助産師会への期待などをお話いただき、終了しました。

終了後も、名残惜しく多くの方とお話しされている姿が見られました。次年度も引き続き母子保健情報交換会の開催を11月に予定しております。多くの皆さまとお会いできますことを楽しみにしております。



報告 新会館建設に向けての進捗状況

会館整備特別委員会委員長 佐藤香代

新会館建設が総会で決議されて2年になろうとしています。家づくり不動産（旧福岡不動産）とのモデルハウス立ち退き交渉は現在も続いているようですが、なかなか進展しません。当時はこんな事態になるとは思いませんでした。会員の皆さまには、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

一方、建替えワーキンググループは精力的に新会館建設の準備を行っています。メンバーは6人の委員と常任理事4人の10人で、緒方理佐委員長のもと毎月1回以上の会議を重ねています。3フロアを助産師会使用することとし設計図を描きましたが、産後ケアを始め今後多くの事業を担っていく助産師会にとっては、3フロアでも不足と考えています。事業拡大に伴い、手狭になっていくことは十分考えられ、頭を悩ませているところです。設計図は、プロの設計士さんに見ていただき、たくさんのアドバイスをいただいています。お話ししていると、どんなすてきな助産師会館になるのか夢が広がるばかりです。研修室、事務室と宿泊型産後ケアの部屋を7室作る予定です。今も行政やお母さま方から産後ケア施設が不足している、新たな施設を作ってほしいとの切実な声が届いています。

1月から設計士、アドバイザー、建設会社、銀行との合同会議を持ち、より詳細な検討を重ねています。2年前とは資材の高騰や地価の上昇等、福岡の状況が全く異なっているため、新たな構造分析や設備設計が必要です。

新会館が建設され、母子の幸せのために貢献したいという私たち助産師の思いが一刻も早く実現できますように。祈るばかりです。

地区活動を紹介します！

福岡地区理事 高橋よし恵

研修会・交流会の開催

11月4日(土)に、「福岡地区研修会・交流会」を行いました。

「みんなで学び交流しよう～産後ケアの実際・開業助産師の実際～」というテーマで、助産院 mamita 院長の田中みちえ氏に講演していただきました。産後ケア事業に関心が寄せられる中、実際の現場の声を聴きたいと、70名を超える方が参加され、会館が人で埋め尽くされました。95%以上の方に満足していただき、大変盛況でした。講演の後は、佐藤会長から助産師会のビジョンをお話していただき、参加者との活発な意見交換が行われました。「もっと参加者同士の交流がしたい」というご意見も頂いたので、来年度につなげていきたいと考えています。



筑豊地区理事 高崎望

研修会・交流会の開催

2月17日に筑豊地区で研修会と交流会を助産院笑望で行いました。

今回は、北九州市地区でご活躍されている【マタニティ・ケアサポート佳】の高井佳世子さんに来ていただき、【頭蓋仙骨療母子ケアでの支援の仕方】というテーマで講義をしていただきました。座学だけでなく、実践を通して自分の身体の変化に気づき学びを深めました。これから母子へのケアをどのように考え、実施したらいいのか各々が考える素晴らしいきっかけとなりました。今回の講座では、仰臥位分娩を主とされている方々や新生児や幼児をケアされている方々にも是非聞いていただきたいと思いました。

またその後の交流会では、講義から学んだことと各々の近況を踏まえての話がまた盛り上がり、さらに楽しく充実した時間となりました。助産師はみな、熱い思いをもっており、女性と子供達の更なる幸せを望んでいる感じました。この繋がりに感謝をし、今後も大切にしていこうと思います。



性、暴力で妊娠させられた女性、貧乏ゆえに産めない女性・・・、望まぬ妊娠で女性たちが不幸になることに耐えきれず、彼女たちを苦しみ淵から救いたいと、ご法度の女医者を営む江与と、それを取り締まる八丁堀同心 津田清之助がいつしか互いに惹かれあっていくラブストーリーです。俳優さんたちも決まっています。皆さんの知っている方々が多数です。今は秘めておきますね。お楽しみに。

私が浜本監督と出会ったのは、昨年11月に行われた第3回 Dignity 国際カンファレンスでのトークショーでした。講演後、映画の監修を依頼されました。「女優はできないけど、監修ならできます！」と江戸時代の時代考証や女医の診察風景等の考証を引き受けさせていただきました。ご存じの通り、助産師の始祖は女医と言われており、当時ほおずきの茎や根を煎じ中絶薬として使用していたことは、助産の歴史で学びましたよね。産婆は昔から子どもを産み育てる女性とともに、子どもを産めない女性にも寄り添ってきた存在です。

この映画の主旨は中絶の有無を問うのではなく、時代に翻弄される女性の悲しみ・苦しみと同時に、女性の強さも描いたものです。このことは現代の女性にも通ずるものがあると思います。

福岡県助産師会は、この映画の後援もさせていただいています！もちろん、映画のエンドロールには「福岡県助産師会」の文字が刻まれます。2025 年の上映挨拶会には俳優さんとともに立ち、助産師会のアピールをしたいと思っています。

皆さま、来年をお楽しみに。映画の成功に向けて応援していきましょう。



助産師が伝える包括的性教育・いのちの教育 連続研修が始まります

福岡県助産師会会長 佐藤香代

福岡県助産師会では、昨年11月より包括的性教育推進事業ワーキンググループを立ち上げ、今年5月から来年2月まで月1回、計10回の連続研修を開催することになりました。

現在有志で集まった精鋭助産師12名は、道園亜希委員長のもと、研修内容の議論を重ね、GOAT (Greatest of All Time) : 今最高のものを作るべく話し合いを重ねています。

幼少期や思春期は、健康に関するさまざまな情報に触れ、行動を選択する健康づくりのスタートとなる時期です。この時期に科学的根拠に基づいたからだや性の知識、スキルを学ぶことにより自身の健康に関心を持つことは、生涯の健康づくりに向けて大切な一歩となります。性教育は生殖器官や妊娠、性に関するトラブルの予防のみを教える教育ではありません。

福岡県助産師会が目指す性教育は、子どもが自分のからだや性的健康と権利を包括的に学ぶことで、自ら

の人生を主体的に生きる力を養うことです。さらにいのちの教育は、いのちに寄り添う助産師だからこそ感じている「いのちあるものへの尊厳」をお伝えします。

本研修をすべて受講した受講者には修了証を発行し、福岡県内の性教育や、プレコンセプションケア・包括的性教育研修に、福岡県助産師会認定講師として派遣する仕組みを構築する予定です。

参加は助産師以外でも可能です。皆さまの参加をお待ちしています。



対面または
オンライン(zoom)の
ハイブリット開催!

《福岡県助産師会 研修のご案内》

2024年度 第1回

いのちあるもの尊厳 リプロダクティブヘルス/ライツを根底に

助産師が伝える包括的性教育 いのちの教育 研修

主催：一般社団法人 福岡県助産師会

幼少期や思春期は、健康に関するさまざまな情報に触れ、行動を選択する健康づくりのスタートとなる時期です。この時期に科学的根拠に基づいたからだや性の知識、スキルを学ぶことにより自身の健康に関心を持つことは、生涯の健康づくりに向けて大切な一歩となります。

性教育は生殖器官や妊娠、性に関するトラブルの予防のみを教える教育ではありません。

福岡県助産師会が目指す性教育は、子どもが自分のからだや性的健康と権利を包括的に学ぶことで、自らの人生を主体的に生きる力を養うことです。さらにいのちの教育は、いのちに寄り添う助産師だからこそ感じている「いのちあるものへの尊厳」をお伝えします。

今年5月より、月1回（講義と実践）、10回連続研修を開始します。

どなたでも、また1回のみでも参加できます。

多くのの方々のご参加を心よりお待ちしております。

保健師・教員・行政の方など助産師以外の
専門職の方の参加も大歓迎です！

研修内容

- | | | |
|-------------------|---------------------|----------------|
| 5/12 性教育の歴史と助産哲学 | 9/8 幼児～小学校低学年への性教育 | 1/12 大学生への性教育 |
| 6/9 なぜ包括的性教育なのか？ | 10/13 小学校中～高学年への性教育 | 2/9 相談対応研修・まとめ |
| 7/14 助産師が行ういのちの教育 | 11/10 中高生への性教育(基礎編) | |
| 8/11 プレコンセプションケア | 12/8 中高生への性教育(応用編) | |

*開催は月1回、第2日曜日です。

研修参加費(1回)

助産師会会員：8,000円

非会員：10,000円

学生：3,000円

会場：福岡県助産師会館(下記住所)

時間：10時～14時15分(1時間の食事休憩込み)

募集人数：60名(対面40名・オンライン20名)

参加者募集等の詳細は、3月中旬以降に福岡県助産師会HPに掲載予定です。

*福岡県助産師会は、地域や学校での包括的性教育・プレコンセプションケアの講師依頼をお受けしています。福岡県助産師会の研修を修了し登録した助産師を派遣いたします。講義(90分)のみオンデマンド配信予定です。どうぞ期待ください。

〒810-0014

福岡市中央区平尾1-3-41 TEL:092-521-2025/FAX:092-521-2025

福岡県助産師会HP



水と、空気と、睡眠と。



世界に誇れる羽毛ブランド
HARUO DOWN

いい羽毛からしか、
いい羽毛ふとんは生まれません。



無料 睡眠セミナー

東洋羽毛では「睡眠健康推進士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい寝姿を得る睡眠グッズを奨励し、イキイキと健康的な毎日を過ごすお手伝いをさせていただきます。

今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです。睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

<お役に立てる主な研修>

- 医療安全対策研修 転倒不足とヒューマンエラーの関係や、交差勤務における睡眠のコツなど
- メンタルヘルス研修 労働者におけるストレスと睡眠の関係
- 学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントや、これだけは死んでほしい生活習慣

● オンラインセミナーも承ります。
● 転倒予防などの研修もあります。(半額にお打ち合わせのお願いも可能です。)
● 単一・複日本津波被災者支援活動の協賛者でもあります。



東洋羽毛九州販売株式会社 福岡営業所
〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-15-28 TEL 0120-104-557

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用いただけます。

GLORY.
院内販売機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで。ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを
回転させながら
商品が
選べます



投入金額以内の
陳列コラムの扉を
1つだけ開けて商品
を取り出せます



外形寸法 (W×D×H)
800×685×1830mm・重量150kg

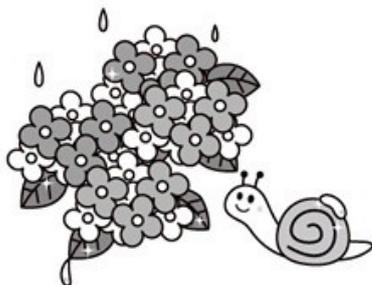
企画・発売元
SEBE セベ産科用品株式会社
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL (092) 472-4316

産褥社 (胎盤処理)

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3丁目
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



mamo-hada だけの
「0ゼロ添加」低刺激処方

肌への優しさを追求し続けることが私たちの最大のテーマです。



mamo-hada
「0ゼロ添加」
低刺激処方

より安心して
お使い頂くために

- 使用しません
- 防腐剤
 - 石油系界面活性剤
 - キレート剤
 - pH調整剤
 - 着色料 (天然・合成)
 - 香料 (天然・合成)
 - アルコール
 - 食物アレルギー成分

- 累積刺激試験 (アレルギーテスト) 済み
- 敏感肌対象パッチテスト済み
- スティンギングテスト済み
- 皮膚科医監修による乳児対象使用テスト済み
- アトピー素因の方対象パッチテスト済み

※すべての方にアレルギーが起らないというわけではありません。

日本免疫経研は、既定NPO法人アトピー地球の子ネットワークの活動を応援しています
【製造販売元】株式会社日本免疫経研
【商品に関するお問い合わせ】株式会社未来 TEL 03-5148-1007

ホームページ会員登録のお願い

会員登録がお済みでない会員の方は、登録をお願いいたします！

登録手順は、福岡県助産師会ホームページ⇒助産師の方へ⇒会員登録について⇒会員登録フォームに必須事項の入力となります。これまで、日本助産師会事務局から福岡県助産師会会員への情報提供は、地区理事や各部会長を通して伝達されていましたが、2022年9月より福岡県助産師会ホームページ内「会員ページ」に掲載することになりました（至急事案を除く）。会員ページにログインすると、観覧制限をしているページを見ることができます。ぜひ会員登録をお願いいたします。

会員募集

一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記 QR コードより福岡県助産師会ホームページにアクセスし、助産師の方へ⇒入会案内のページにお入りください。または、下記担当者への連絡をお願いいたします。



【福岡県助産師会 会計 山口美津枝】

住所：〒807-1134

北九州市八幡西区茶屋の原 4 丁目 1-12

電話：090-9607-3331

メールアドレス：3enyanko@gmail.com

おひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております



【編集後記】

今年度最後のニュースレターとなります。助産師への期待が助産師会の活動の拡がりに繋がっていることを感じながら編集を行いました。今回も充実版をお届けできることを嬉しく思います。

広報・渉外委員 後藤・村尾・安河内・原武・阿部

一般社団法人 福岡県助産師会 ニュースレター 第 84 号 2024 年 2 月

発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <https://jyosanshi.net>



